



まえがき

この本は、プログラマが普段どうやってプログラムを開発し、何を考えているかを、日常の生活から仕事場までを含めて、つづったノンフィクションだ。プレステですごいゲー

ワシらプログラマは、SEみたいなアホとは違う！

プログラマが同じだと思っっているフシもある。はっきりいおう。

プログラマという人種は、表舞台に立つことがない（立ちたくもない）ので、あまり一般には正しく理解されていないらしい。それどころか他部署のSEや営業担当にまで「プログラマは何考えているかわからない」といわれる始末だ。ましてや世間様は、SEとプログラマが同じだと思っっているフシもある。はっきりいおう。

でも辛いことだってある。おバカなSE（システムエンジニア）が受注してきた、むちゃくちゃなシステムや、納品前の慌しさは、体力的にも精神的にもつらい。

人材不足で引く手あまた。転職回数は無制限。雨の日は会社に行かないし、ノリが悪ければ帰宅できる。会社でもかなり自由が利くつのが魅力だ。ゲーム発売日でもご存じのとおり、できなけりゃ発売延期すればいい。

プログラマはさう職業だ！



- ・本書に記載されている「プログラマしくみ」は、それぞれの生き方や考えにより、実際の言動や実行結果とは異なる場合があります。
- ・本書に記載されているテクニックや入れ知恵などを運用した結果により生じた、いかなる損害および障害について、ワシならびに出版社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ・本文中に登場する人物や会社・団体は、限りなくフィクションに違いノンフィクションです。あまり詮索しないでください。
- ・本文中に記載されているシェアが分からない方は、分かる方にご相談ください。お電話でのお問い合わせには、一切応じられません。
- ・本文中に記載されているヤバイ内容については、他言無用でお願いいたします。また運用の結果、おまわりさんや上司、クライアントに任意同行を求められる場合があることご承知おきください。

本文をお読みになり始めたことをもって、上記に同意したものとさせていただきます。なお、お立ち読みのお客様は、本文を3ページ以上めくった動作をもって、お買い上げとみなされますのでご注意ください。3ページをめくった場合は、即レジにお持ちくださいますよう、お客様のご協力をご理解を賜ります（笑）。

- ・Microsoft、MS-DOS、Visual Basic、Visual C、Windowsは、米国およびまたは他の国のMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- ・本文中に記載されている社名、商品名、製品名などは、一般に開発会社または販売会社の登録商標または商標です。
- ・本文中では©、®、™を省略しています。

ムができるのも、インターネットで裏ビデオが交換できるのも、パソコン創世記から歴代にわたるプログラマの夢と試行錯誤と不摂生の賜物だ。

少しでも世間様にその生態を正しく知ってもらいたい。ワシらが分からないという

SEや営業も読んでくれ！

プログラマのホンネと言動のしくみが、キット分かってもらえるはずだ。

それからゲイツ！ お前も読め！

キミのおかげでどれだけ苦労させられているかを、具体的に語っていこう。

さらにゲームプログラマを目指しているチビッコの小学生諸君から、プログラマを目指している学生のキミ！ そしてリストラされちゃって職に困ってる諸兄のみなさま、プログラマになる方法を裏と表からお教えしよう。

同志のプログラマは、自分自身のお笑いネタとして読んでくれ！

2003年5月吉日(つても台風が来てる…)

ワシ(人間名:藤山 哲人)

プログラマのくみ 目次

第二章 読書型プログラマの文	1
プログラマは魔法使い.....	2
コンピュータの知能は小学生レベル.....	6
本を読むのが仕事.....	8
どこまで分解できるかが勝負.....	10
物理や数学・英語が得意なのか？.....	15
徹夜が多いのは本当か？.....	19
情報処理試験なんてクソ喰らえ！.....	22
第三章 プログラマの職場	25
パソコンは好き、でもゲイツは嫌い.....	26

愛するマシンには名前がある.....	31
プログラマの宗派.....	35
書くより探し物が多い.....	39
プログラマの食べ物.....	45
新米プログラマのお仕事.....	50
プログラマの密かな楽しみ.....	56
「聞きませど」できるまで.....	61
プログラマのスケジュール.....	63
びったりー 256.....	69
プログラマが笑う日.....	74

第三章 プログラマの生活

なぜゲームの発売が遅れるのか?.....	80
SEとプログラマ.....	83

プログラマが怖いもの.....	87
プログラマとプログラマ.....	89
「それは仕様じゃ」.....	91
再現性「稀」.....	94
デバッグとプログラマ.....	96
できるヤツほどソーンをする.....	98
「境界」のソナ.....	101
プログラマと社長.....	102

第四章 プログラマの心

常に合理的であれ.....	106
通勤・食事・便所・風呂24時間プログラム.....	110
つくみニア.....	112
「No」にする日本人.....	115

プログラマに彼女がいらないわけ.....	117
夢いっぱいのおヤジ少年.....	122
常にどこかを見つめてる.....	125
呑コミュニケーションはお嫌い.....	127
デジタル至上主義.....	130
ストレスはプログラムで発散.....	134
俺はパソコン博士じゃない！.....	138

第五章 年代別プログラマへの道.....141

小学生からのエリートコース.....	142
中学生からのマニアあがりプログラマ.....	145
高校生からのバイトプログラマ.....	148
大学生からの技術系プログラマ.....	151
社会人プログラマ.....	154

脱サラプログラマ.....	155
リストラ組みの人材派遣プログラマ.....	156

第六章 プログラママに必要なもの.....159

人材派遣系プログラマ.....	160
請け負い開発系プログラマ.....	163
自社製品開発系プログラマ.....	168
組み込みマイコン系プログラマ.....	172
勘定系サラリーマンプログラマ.....	175
ネットワークプログラマ.....	178
ゲームプログラマ.....	180

第七章 プログラマの未来

C	が書けるマイコン系プログラマ	185
	ネットワークを極めよ	186
	プログラマ以外のエキスパートであれ	187
	しばらくは職人でいいけれど	188
	プログラマがプログラムを作る時代	190
	パイロットにプログラマの未来を見る	191
		192